

## Smart Times

「3万3076社」。この数字は創業100年を超える日本企業の数だ。世界の創業100年以上の企業の41・3%を占めており、日本企業は世界一の長寿国だ。「お茶づけ海苔」など

でおなじみの食品メーカー「永谷園」も長寿企業の一社だ。永谷園の起源は1738年、江戸時代に煎茶の製法を開発した永谷宗七郎にさかのぼる。宗七郎の10代目にあたる永谷嘉男は父武蔵

インターウォーズ社長

吉井 信隆



1979年リクルート（現リクルートホールディングス）入社。首都圏営業部長などを経て95年にインキュベーション事業のインターウォーズを設立、社長に就く。日本ニュービジネス協議会連合会副会長。

が開発した「海苔茶」に改 ینگスのM&A（合併・良を加えて1952年に 買取）や、英フリーズドラ「お茶づけ海苔」を発明し、イ会社のブルームコを傘下永谷園本舗として創業し に収め、欧米市場での取引を拡大し力強く展開していった。「味ひとすじ」の企業理

## 「100年企業」の経営マインド

主体的な意志  
で、イノベ  
ションに挑む  
ことに100

念のもと、創意と工夫でお 客様においしさを提供し続 ける姿勢で、永く食卓で愛 される「永谷園ブランド」 を築いた。現社長も変わら ぬ本質を守りながらも新し いものを取り入れ変化する 「不易流行」の経営者だ。 海外事業ではシュウクリ ム専門店「ビード・パバ」 を運営する妻の穂ホールデ 念のもと、創意と工夫でお 客様においしさを提供し続 ける姿勢で、永く食卓で愛 される「永谷園ブランド」 を築いた。現社長も変わら ぬ本質を守りながらも新し いものを取り入れ変化する 「不易流行」の経営者だ。 海外事業ではシュウクリ ム専門店「ビード・パバ」 を運営する妻の穂ホールデ 念のもと、創意と工夫でお 客様においしさを提供し続 ける姿勢で、永く食卓で愛 される「永谷園ブランド」 を築いた。現社長も変わら ぬ本質を守りながらも新し いものを取り入れ変化する 「不易流行」の経営者だ。 海外事業ではシュウクリ ム専門店「ビード・パバ」 を運営する妻の穂ホールデ

姿勢に相撲ファンからは称 賛の声が上がった。

永谷さんは「創業以来、 科学技術の進歩や価値観の 多様化、食の安全や地球環 境に対する意識など、永谷 園を取り巻く状況も大きく 変化したが、『味ひとすじ』 の精神は何ひとつ変わって いない」という。永谷さん は、何を守って残し、何を 短期的アプローチではな

は、何を守って残し、何を 短期的アプローチではな

挑戦し変えていくか、「不 易流行」のバランスを持っ た決断思考で「世界になく てはならない会社」を目指 している。

100年企業には創業者 かつてない危機にひんして いる。激変する経営環境の なかで、「不易流行」での 決断思考の連続が100年 企業の新たな歴史を刻んで いる。